

★ 議会だより

No.95

令和6年8月
2024.8

のせ



5月会議報告・・・・・・・・・・P2

6月定例会議報告・・・・・・・・P3

一般質問・・・・・・・・・・P4

予算常任委員会報告

6月20日 開催

委員長 森田 則子

予算常任委員会に付託されました「令和6年度能勢町一般会計補正予算(第1号)」について、委員会を開催し予算内容を審議した結果、賛成全員で可決すべきものと決定しました。

主な質疑応答は次のとおりです。

問 不動産鑑定料について問う。

答 旧東保育所の不動産鑑定で、郵便事業者から施設整備したいとの要望を受けて行うもの。敷地面積2276㎡、建物567㎡で、建物も併せて売却となる。
保管されていた文化財については生涯学習センター移設に合わせて所管課と調整し検討して行く。

問 新規就農者育成総合対策事業補助金の内訳について問う。

答 当初、経営発展支援事業(1名)・経営開始支援事業(5名)への支援に1125万円を計上して行う事業であったが、経営開始支援事業から2名が経営発展支援事業に移行することにより、予算を増額するものである。

問 電力等価格高騰緊急支援給付金について問う。

答 定額給付金で減税しきれない方への調整給付を計上し、令和6年個人住民税の課税台帳より1739人を見込んでいる。時期は、7月までに対象者へ確認書を発送し、提出後8月末までに第1回目の支給を進めたい。

問 消防団員退職報償金について、現在の隊員数と再編の状況、今後の方針について問う。

答 昨年427名で5年度の退団が35名(5年以上の在籍者30名)、入団が13名で現在は405名が登録されている。再編検討委員会が、昨年5回開催された。令和6年度から検討委員会のメンバーが変わり、第1回目の委員会を6月末に予定している。今後は、班単位での団員確保が厳しい状況であることから、広域での消防団活動を委員会で検討して行く。

問 農山漁村発イノベーション整備事業補助金の事業内容および運営について問う。

答 能勢けやきの里の整備事業費補助金である。人口減少や高齢化に伴う活力の低下、定住、地域交流を促進するためハード整備の補助をメインとして行うものである。
農事組合法人が取り組み、農産物販売を引き続き行う他、新たに新商品の企画や、加工品を開発し、軽食も提供する。目標売上を3000万円増、来場者数3万2千人をめざして行くことを確認している。

令和6年 能勢町議会5月会議報告

5月13日開催

5月会議には、報告2件、その他1件が提出され、賛成全員により可決されました。

◇請負契約の締結について

能勢町役場旧庁舎等解体工事

契約の方法

一般競争入札

契約金額

1億6,298万9,200円

契約の相手方

株式会社福田組

令和6年 能勢町議会6月定例会議報告

6月17・18・19・21日開催

6月定例会議には、報告 1 件、条例2件、補正予算2件、人事 6 件、議会議案2件の合計13件が提出されました。賛否が分かれた案件は 2 件で、その他の案件は賛成全員で可決・同意・適任とされました。

◇能勢町地域包括支援センターにおける包括的支援事業の実施に関する基準を定める条例の一部を改正する
条例について

地域包括支援センターに設置すべき人員に常勤換算方法が適用されるよう改正されたことに伴う改正。

◇能勢町企業立地促進条例の一部を改正する条例について

企業立地促進奨励金の額を、投下固定資産に対して課された交付対象期間各年度の固定資産税等に相当する額に2分の1を乗じて得た額(500万円を限度)に改正。

◇令和6年度能勢町一般会計補正予算(第1号)

補正額 3億4,263万円

(主なもの)

・ 電力等価格高騰緊急支援給付金	6,700万円
・ 新型コロナウイルスワクチン接種事業	2,102万円
・ 農山漁村発イノベーション整備事業	2,925万円
・ 消防団員退職報奨金	1,237万円
・ 児童館撤去工事	1億6,000万円

【賛成討論】 平田 要

電力等価格高騰緊急支援給付金を始め、秋から高齢者の新型コロナワクチン接種など、住民に直結する補正予算が組まれている。中でも、農山村漁村発イノベーション整備事業補助金は農水省と能勢町との支援により、能勢けやきの里がリニューアルを進められる。事業は、加工施設、飲食ブースを設け、付加価値を高め年間を通した安定した商品提供により、農業者の所得向上と安定につなげるとともに、雇用の創出を図ることを目的に取り組まれる。

国道477号線と東郷観光案内所を活かし、交流人口を増やし地域の活性化につなげるためにも賛成する。

◇令和6年度能勢町国民健康保険特別会計補正予算(第1号)

補正額 797万円 (保険証が廃止され、マイナンバーカードとなることにより必要な電算の改修費)

◇監査委員の選任につき同意を求めることについて

井角 和博 氏

◇人権擁護委員の推薦につき意見を求めることについて

令和6年12月31日に任期満了となる人権擁護委員5名について、町長が候補者の推薦の手続きを行うため議会に意見を求めるもの。

◇イスラエル・パレスチナにおける紛争の平和的解決を求める決議について

賛 否

可決

平田 要	井上加奈子	難波希美子	長尾 義和	西河 巧	森田 則子	岡本ひとし	中西 顕治	中植 昭彦	奥 久明	太田 祐介	大西 則宏
○	○	○	×	×	○	○	○	×	×	×	議長

注:議長は採決に加わりません。

◇訪問介護費の引き下げ撤回と、介護報酬引き上げの再改定を早急に行うことを求める意見書について

賛 否

否決

平田 要	井上加奈子	難波希美子	長尾 義和	西河 巧	森田 則子	岡本ひとし	中西 顕治	中植 昭彦	奥 久明	太田 祐介	大西 則宏
○	○	○	×	×	×	○	○	×	×	×	議長

注:議長は採決に加わりません。



太田 祐介

能勢町での農業のあり方

農業の産業的位置づけ

問 農家の減少は農業の衰退という認識が問う。

答 経営体数は平成27年736戸、令和2年581戸であり、5年間で155戸、21.1%の減少、産出額は平成27年15億3000万円、令和2年14億円であり、5年間で1億3000万円、8.5%減少している。一概に農家の減少が農業の衰退と考えていないが、少なからず影響はある。

認定農業者について

問 認定の計画が達成されなかった場合どのような措置がとられるのか問う。

答 認定新規就農者からは年2回の状況報告書の提出を受け、大阪府とともに面談を実施する。その際に達成が見込めない

農業支援の政策

問 支援組織事業の進捗よく状況を問う。

答 関係機関等による幹事組織（仮）を設置して、持続的な取組みが可能な農事組合法人の設立を支援していく。その中で地域おこし協力隊にもご協力いただきたい。

農業と経営

問 農業大学校との連携を問う。

答 農業大学校とは具体的な連携は行っていないが、今年度から農業大学校出身者が1名就農しようとしている。

学び直しや就農前の方への大学校の案内について問う。

答 窓口に来た方への啓発もひとつと思う。また、大学校に通う方々に能勢町で就農してもらえようという啓発も必要と考える。



一般質問



平田 要

旧小・中学校体育施設の利用について

小・中学校の閉校後の体育施設については、災害時の避難所として指定されている。日頃は地域コミュニティ活動の場として体連支部やこども会、地元住民に利用され、地域住民のスポーツを通じて交流活動や青少年の健全育成を目指し、剣道や空手等の場として使用されているが、令和7年3月末をもって終了すると利用団体に通知がされている。

問 現在の利用状況を問う。

答 団体数は21団体、活動人数は320名、うち町内261名である。

問 青少年健全育成のために奉仕的精神で活動

答 各地区的な体連等地域の活性化に資する団体の活用が、また地域の福祉の向上に資する団体の利用とする。

問 今後、豊能署が統廃合の対象にならないよう町からの働きかけはあるのか。

答 夜間休日体制については、隣接する警察署と一体的な運用がなされることで、従来よりも体制が強化されたと聞いている。

① 旧小・中体学校体育施設の利用 ② 豊能警察署の新体制への移行

れる団体等、活動の場がなくなる。課題とする安全確保・防犯強化に努め、令和7年度も活動の場として供されたいが、姿勢を問う。

問 今後、豊能署が統廃合の対象にならないよう町からの働きかけはあるのか。

答 豊能警察署の新体制への移行について

問 令和6年4月からどのような体制で行なわれているか問う。

答 今年度より新たな体制で業務を実施する旨の報告があったところである。体制は人員配置を一部見直し、夜間における当直体制を変更されたと聞いている。





井上 加奈子

「子どもの生活に関する実態調査」 からつなげる子どもの貧困対策・ 子育て支援

問 2016年の子どもの生活実態調査を基に実施した対策は2023年の調査結果にどう反映されていたか。

答 2016年調査では「公的機関に相談する」という回答が2.4%であったことから、ワンストップ相談窓口「子どもの未来応援センター」を設置した結果、昨年の調査では4ポイント増の6.4%となり、府全体の3.2%と比較しても効果があつたと考えている。

また、家庭教育支援の重要性が指摘され、年長児（3年生（現在6年生まで拡充）の児童がいる世帯を対象に、家庭教育支援として年3回家庭訪問を実施した。

問 家庭教育支援事業で配布する情報誌「ほっこり」で、保護者も子どもも制度を利用する権利があるということをイラストやチェックシートを使って分かりやすく伝え、さらに支援につなげる必要があるのではないかと。

答 情報を分かりやすく広めることは大事である。関係機関、教育委員会と連携し、記事、誌面、紙幅を工夫して載せていきたい。

問 子育て負担軽減施策として、学校徴収金を減らすために補助教材（ドリル・テスト等）の全額公費負担、算数セットや書道用品等の学校共用化、柔道着のリユース等を実施する自治体が増えているか。本町は検討しているか。

答 学校で対策を見直していくには、まず保護者の声の集約が大事になる。PTAや保護者懇談会等、意見を述べられる場があるので、そういう声が多数あれば見直すという話になるかもしれないが、今ある一例を取って再検討していく段階にはない。



一般質問



岡本 ひとし

問 登録型本人通知制度登録者増加に向けたとりくみ

答 登録者増加に向けたとりくみについて問う。

問 IP・広報への定期的な掲載や窓口での周知に加え、制度定着に努めている。

答 目標設定し登録者増加の努力が必要ではないのか問う。

問 様々な機会をとらえて登録者の増加にむけてとりくむ。

答 転入者への制度の啓発はどのようにされているのか問う。

問 個別に制度について説明していない。窓口で制度内容について掲示している。

答 掲示することも重要だが、一歩踏み込んで、説明すれば登録者増加に

個人情報の保護について

問 繋がるのではないかと問う。

答 広報等で周知しており、引き続き行き渡るようにする。

問 物品を配布するだけでは窓口までの誘導は結びつきにくい。イベント等の出前窓口を設けることを提案する。

答 我々の最終的な目標というところ、登録者数を増やすというところに重き

は置いていない。制度を、こういう制度があるんだと申込みをされた方ではきるという体制にいち早く持っていく。そのため

には、まず、周知は大事だというふうに考えている。今後必要な対応を行う。

問 ネット上の誹謗中傷を禁止する条例が必要ではないか。

答 検証したい。

登録型本人通知制度登録者状況

R6.3.31

町村名	住基人口	登録者	通知件数	割合 (%)
千早赤阪村	4,782	118	46	2.47
太子町	12,813	306	148	2.39
田尻町	8,493	154	62	1.81
熊取町	42,854	542	252	1.26
河南町	14,815	178	120	1.20
忠岡町	16,573	146	92	0.88
岬町	14,516	110	87	0.76
島本町	31,681	208	82	0.66
能勢町	9,125	24	17	0.26
豊能町	18,183	6	20	0.03



森田 則子

① 来庁者用に、軟骨伝導イヤホンを配置 ② がん患者の外見ケア「医療用ウィッグ助成」

**耳が聞こえにくい
来庁者への配慮**

問 耳マークを設置すること

で、すぐに必要な支援を受けられると考える。窓口に掲示してはどうか。

答 現在は、掲示していないが、今後、速やかに掲示し、筆談等丁寧に対応していく。

問 軟骨伝導イヤホンの認識と、今後の配置について問う。

答 耳の入り口付近にある軟骨を振動させて音を伝える仕組みで、これを窓口に配置し、使用すること

で聞こえづらさが緩和されるなど、効果があるものと認識している。今後は費用対効果やニーズを、勘案しつつ適切に対応していく。

**アピアランスケア
（外見ケア）**

医療用ウィッグ助成

問 がん治療しながら、学業や仕事を継続している人が増えている。放射線治療などで外見が変化した人に、医療用ウィッグや、乳房補整下着を助成する自治体が近隣市町でも増えている。本町も助成制度を実施してはどうか。

答 大阪府内でも半数程度の自治体を実施している。成果や課題を確認し、令和7年度実施の是非については、予算編成時期である年内をめどに判断をしたいと考えている。



耳マーク

問 電話リレーサービスの住民への利用促進と周知の取組みを問う。

答 最新のチラシを配架し、IPで周知していきたい。また関係する会議、イベント等での周知も工夫する。



一般質問



中西 顕治

地域公共交通計画の実施状況

4月から能勢町地域公共交通計画に基づき、拡充された施策の稼働状況について確認する。



問 運行エリア外の住民から問い合わせがあるが、どう対応するか。

答 直接役場窓口かホームページを通じて問い合わせをいただきたい。

問 乗継利用の状況は。

答 統計データでは約半数の利用が乗継ぎである。

問 乗継ぎ乗客の増加が見込めるならばエリアの拡大も考えられないか。

答 乗継実績、利用者の増加を含めて、交通事業者と議論をしていきたい。

問 妙見口のせ号の稼働状況を問う。

答 2か月間で乗車人数は1030人、1日当たり平均利用人数は24.5人であり、目標値の26人に対して達成率約94%となっており、定期券利用者の継続的な利用が認められる。

問 乗車定員を超える乗客があったと聞くがどう対応したか。

答 続行便を走らせた。

問 今後の対応は。

答 乗客が定員を超える可能性のある第3便、第6便では続行便を走らせている。今後は1年間様子を見て、中型車両の導入などの協議を事業者としていきたい。

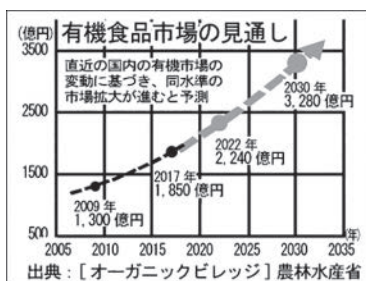
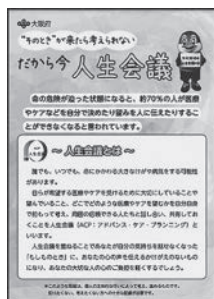


問 能勢町乗合タクシーの稼働状況を問う。

答 4月から5月末までの2か月間で、運行回数220回、乗車人数276人。1日当たりの平均利用者は6.7人であり、目標値の25人に対して達成率約27%であるが、交通空白地の解消とセーフティネットとしての役割を果たしている」と認識している。

住 民 票					
生	年	月	日	性別	続 柄
平成	年	月	日	男	夫(末届)
個	人	番	号	住民票コード	
	(省略)		(省略)		

同性カップルへの配慮をした続柄表記のイメージ (難波作成)



【本人・子・母など】
※続柄(つづきながら)
法律解釈を含めて、国レベルでの議論が必要で、法に則り進める。

【答】 実施する予定はない。
大阪府作成の「人生会議」を適切な場で配布して、終活の様なことを周知していきたい。

【答】 農業や化学肥料を使わないという安心感やCO2削減効果で評価を得ていると認識している。

【問】 同性カップルの住民票の※続柄表示を「夫(末届)」とする自治体がある。本町でも見直しを検討してみてもどうか。

【問】 エンディングノートの配布や終活セミナーを実施している自治体もあるが本町は実施しないのか。

【問】 世界や国内の有機農業の増加の要因はどの様に認識しているのか。

【問】 職員に対して性的マインリティの研修を行っているのか。

【問】 本町の独居高齢者世帯の推移と予測を問う。

【問】 本町の有機農業についての展望を問う。

同性カップルの続柄表記

終活

オーガニックビレッジ



難波 希美子

- ① 同性カップルの続柄表記
- ② 終活
- ③ オーガニックビレッジ

環境教育常任委員会報告

委員長 太田 祐介

6月7日開催

委員懇談会

教育委員会生涯学習課の担当者出席のもと、「生涯学習センターのあり方と活性化」について議論した。
現在の利用状況や、他の自治体の図書館・図書室の現状について認識を共有した。
主に、施設としてのあり方、利用者を増やすための方策、利用者のニーズについて議論を行った。



消防操法大会に向け、練習に励む能勢町消防団【第3分団】

小型ポンプ操法の練習が始まりました。この日は、初めての放水でしたが、団員の皆さんはキビキビとした動きで、元気に声を掛け合っていました。

日頃の活動に敬意と感謝を表します。

《消防操法大会日程》

8月4日 第80回 豊能地区支部総合訓練大会
服部緑地 人工芝サッカー場（豊中市）

9月1日 第68回 大阪府消防大会
大阪府立消防学校（大東市）



— 表紙の写真 — ハッチョウトンボ（八丁蜻蛉）オス

トンボ科ハッチョウトンボ属

体長約2 cm の日本一小さなトンボで、オスは写真のようなアカネ色。メスは茶褐色で、腹部は黄や黒の横縞です。日当たりのいい湿地や湿原に生息していますが、近年の開発や環境汚染などにより著しく数を減少させています。

町内にある一部の生息地では、湿地部の陸地化が進むなど、湿地環境の衰退が見られだした2006年に、特定外来生物ウシガエルが現れ、この頃からハッチョウトンボが確認できなくなりましたが、ウシガエルの駆除や偏った水路の埋戻し、周辺森林の伐採による湿地部への光環境の改善などの保全・再生活動により2022年に14年ぶりに生息が確認されました。

～～ 表紙を飾る写真を募集しています。議会事務局までご連絡ください。～～

— おしらせ —

9月定例会議は9月10日（火曜日）が開会日となります。
詳細な日程は決定次第ホームページなどでお知らせします。

編集後記

夏本番、皆さま、いかがお過ごしでしょうか。

適度な運動、こまめな水分補給、十分な睡眠、ストレス軽減、そして無理は禁物で、この夏を乗り切りましょう。

さて、9月10日から始まる定例会議は、一般質問と決算審議があります。一般質問では、能勢町の課題をどう解決に繋げていけるのか等の質疑応答があります。決算審議では予算が有効に使われていたかをチェックします。ぜひ、傍聴にお越しください。

広報特別委員会

委員長	難波希美子	副委員長	中西 顕治
委員	平田 要	井上加奈子	太田 祐介

発行／能勢町議会 発行責任者／大西 則宏 編集／広報特別委員会 発行日／令和6年8月1日
〒563-0392 大阪府豊能郡能勢町宿野28番地
TEL(072)734-0151 FAX(072)734-2460
ホームページアドレス <http://www.town.nose.osaka.jp>

能勢町議会

